

連日酷暑が続き、熱中症警戒アラートは出っぱなし。この暑さは、今後1か月は続くとの予報が出ていました。せめて夜だけでももう少し涼しくなるとよいのですが、残念ながらまだまだ寝苦しい夜も続きそうです。

さて、パリ五輪が始まり、連日その結果報道でにぎわっていますね。そのなかいろいろとバズっているのが審判の誤審問題。柔道やバスケ、バレー等で審判の判断が物議を醸しています。その昔、ある審判が「俺がルールブックだ。」と自らの判断を曲げなかったという話もありましたが、そんな態度は現代では通用しなくなっています。現在は昔と違ってビデオ判定があります。競技によってその請求回数や、やり方は異なっています。例えば1ゲームにつき1回だけとか、ビデオ判定が成功すれば継続して請求できるとか様々なようです。

ビデオ判定で有名なのが、サッカーでのいわゆる「三苦の1ミリ」でしょうか。ラインにボールが1ミリかかっていたことを映像で判定できたことにより、ゴールが認められました。これは審判の肉眼ではなかなか正確な判断はできません。では、スポーツにおいてすべての審判がAI化するのかというと、決してそうならないだろうと信じてます。AIから人間が管理されているようでぞっとします。あと怖いのがSNSが氾濫している今日、誤審をした審判がSNSのなかで誹謗中傷を受けていることです。人間の判断なので必ずしも正確な判断ができるわけではありません。AIが審判の判定を補助することで、このようなことが起きないことを切に願います。

前置きが長くなりましたが、今や学校でのテストや模擬試験での採点もAIが行うようになってきました。その判定で問題になるのが、文字を正しく読み取ってくれるのかどうかです。いわゆるミミズの這ったような文字では正しい文字と判断されにくいようです。限られた時間の中で記述しなければならなくなると、どうしても文字が雑になりがちですが、そのために正しい文字と判断されず、減点されるなんて非常にもったいないことです。スポーツではその場で「物言い」ができますが、入試などでは、自分は正しい解答を書いたはずなのに、なぜ間違っただのかなどの検証ができません。そうならないためにも、普段から字を丁寧に分かりやすく書くようにしましょう。

今、夏期講座を行っています。暑い中、生徒たちは勉強を頑張っています。熱中症の予防に十分留意して行動してください。また、コロナ感染等も気をつけて授業に臨んでください。

